



水色の天使

ある町の刑務所にて労働をしている囚人のもとに水色の天使が舞い降りました。

囚人は刑務所で木箱を作る毎日の労働にうんざりしていたところでした。

天使は「あなとの隣の部屋の囚人は木箱を一日12個も作りましたよ」と言って立ち去りました。

囚人は自分は毎日頑張っても10個しか作れないのに・・・と考え、見ず知らずのお隣に負けてなるものかと記録に挑むスイッチが入ったのでした。

数か月後、囚人は工夫を重ね記録13個を達成できたのでした。

その夜、また水色の天使が舞い降り、「隣は15個の記録を作りましたよ」と言って立ち去りました。

囚人はまたさらなる努力を続け16個の記録を作りました。

すると天使が舞い降り「隣は20個ですよ」と言うのでした。

囚人は記録よりも隣の人物に興味を湧き始めました。

どんな人なんだろう、どんなに努力をしているのだろう・・・とても気になる毎日をお過ごしました。

やがて囚人はそのまじめな労働を認められ、予定より2年も早く出所することになり、出所する時には30個の記録を作っていました。

囚人は出所の日を楽しみにするというよりも、その日に隣の人物を見ることができるのが何よりも楽しみにしていました。

いよいよ当日、隣の部屋の前を通った時、囚人は隣の部屋に誰もいない状況を目にしました。

「えっ！俺は誰と戦っていたんだ・・・」囚人は天を仰ぎました。

作者：鳥越介順

お地藏さん だよ Vol. 211



2024年6月 鳥越介順

ソニックジャパン 金沢支社 支社長

鳥越介順 (とりごえ かいじゅん)

シルバー川柳

笑って笑って!! 元気元気に!!

全国有料老人ホーム協会
HPより

- 自己紹介
- 名前・出身
- 趣味・持病
- 断捨離の
- リストに載せるな
- 俺の名を
- 免許より
- 夫返納
- したい毒
- 古稀すぎた
- トイレの回数
- 異次元へ
- 初サウナ
- とこのうはすが
- 脈乱れ
- 棋士よりも
- 菓子が気になる
- 名人戦
- 宿題を
- 孫に頼まれ
- 闇バイト
- どの顔も
- 詐欺師に思われる
- インターフォン

人生で 最後に 残るもの

それは 趣味で集めたもの、

お金、土地、地位、名誉
でもなく

人に与えたものだけ
ある。

まさにこの通りですね

